



令和7年度杉並区総合震災訓練に参加

自衛隊東京地方協力本部高円寺募集案内所（所長 及川2陸尉）は11月1日、杉並区に所在する都立和田堀公園で実施された「令和7年度杉並区総合震災訓練」において自衛官募集広報ブースを設置し、自衛官募集及び自衛隊活動の紹介を行った。前日から朝方にかけて雨模様となったが、訓練当日は晴天に恵まれ、各関係機関が参加する合同訓練が整齊と実施された。

会場では、支援を受けた第1普通科連隊第4中隊により、炊事訓練が実施され1000食分のカレーが調理されるとともに、高機動車、軽装甲機動車、偵察用オートバイといった装備品展示が行われ、多くの家族連れや防災関係者の関心を引くことができた。

また、広報ブースには約100名の来場者が訪れ、広報官から募集制度や災害派遣活動の説明を実施し、自衛隊の任務や活動内容への理解を深めることができた。

高円寺募集案内所は、今後も自治体や関係機関との連携を図りつつ、地域の防災意識の向上と自衛隊への理解促進に努めていく。



「町田市防災フェスタ2025」に参加

自衛隊東京地方協力本部町田募集案内所（所長 石川3海佐）は11月2日、町田シバヒロ及び町田第一小学校で開催された「町田市防災フェスタ2025」に参加した。本イベントは、自衛隊のライフハック、働く各種車両の展示、消防隊の救助演技、防災展示等を通じて、「防災」について子供から大人まで楽しく学ぶことをテーマとして行われた。

会場は、「避難施設ゾーン」「はたらくるまゾーン」「体験ゾーン」「そなえるゾーン」及び「アウトドアゾーン」の5つのカテゴリーで構成され、防災に対し様々な視点から学ぶことができる内容であった。

自衛隊ブースでは、能登半島地震における災害派遣活動のパネル紹介や応急担架の作り方及び搬送体験を展示・実演した。

特に、木の棒と毛布により手軽に応急担架が作成できることや大人が乗っても十分に担架として機能する点については、多くの参加者から驚きの声があがっていた。

町田募集案内所は、今後も地域のイベントに積極的に参加し、防災意識の高揚に貢献するとともに、幅広い層に自衛隊を認知してもらうための活動を継続していく。

